



西森建築設計事務所

西森 陸雄

Sogno d' Oro

1961年 東京都生まれ
1984年 早稲田大学工学部建築学科卒業
1986年 同大学院博士課程終了
1986年～91年 (株) AUR建築・都市・コンサルタント勤務
1991年～93年 Massimiliano Fuksas ローマ事務所勤務
1997年 有限会社 西森事務所 設立

「保存と再生」

インタビュー：共立女子大学 城所有希子/桑沢香織

卒業制作のテーマは保存と再生です。その当時の日本では古い建物を再利用する概念がありませんでした。私は古いものが好きだったのでバランスが取れたテーマが保存と再生でした。今も考えは変わっていません。

もちろん壊して建て直すことが良くないと言っているわけではありませんが、ただ昔の記憶は残していかなければなりません。建築が建っているということはそれによる環境が存在します。ひとたび建物が解体された場合にも、そこにはその建物の残像が残っているはずなのです。それを理解した上で建て直すことが重要です。例えば家の向かいにビルがあったとします。ビルがなくなったとしてこの家の窓だけを見たときにきつと向かいのここには窓があったのだろうからこの家の窓はここじゃなきゃならなかったのだろうと想像できるわけです。そういったことを一つ一つ残していくことが大切でしょう。

—— その当時興味のあったことはありますか？

その当時はとにかくイタリアに行きたくて、とても憧れていました。それは一番初めに影響を受けた建築家が70年の大阪万博イタリア館の設計者であるトーマゾ・ヴァッレだったからです。高校2年生の時に買った建築雑誌に彼の特集をやっていてモダンな構造主義の建築ですがカッコいいと思い、それが建築に進むきっかけになりました。

イタリアではマッシミリアーノ・フクサイタリアではマッシミリアーノ・フクサスに師事し、影響を受けました。彼は最新しくできたミラノの見本市会場を設計しています。

—— 卒業設計のデザインについて教えて下さい。

敷地は大仁金山という金の製錬所の跡でとても強烈な印象を持った古建物でした。それに手を加えて新しい建築を作りたいと思っていました。

私はその当時、全くゼロから建築を作るというのが苦手で、何か設計の手がかりになるものとして既存の街や建物にヒントを

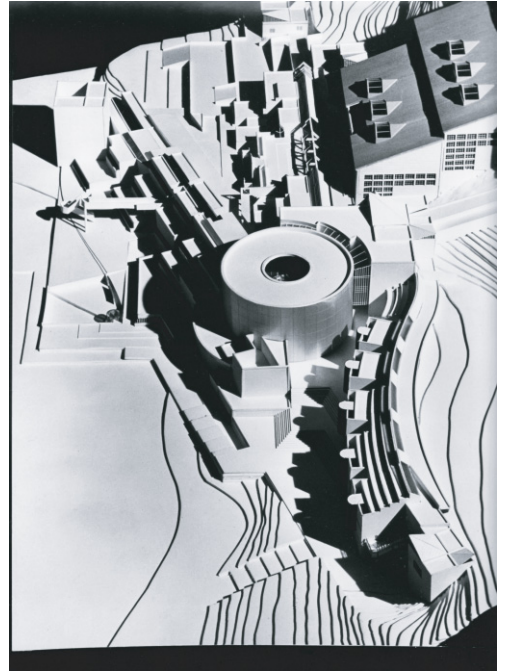
求めていました。卒業設計をやる前の年の近代建築にたまたま大仁金山がでていてこれだ、と思いました。これは北側斜面に建っています。逆光になるので見上げるとまぶしい。常に逆光で光を感じるというのがこの建物なのです。ここに光と影で強烈な空間をつくってみたいという気持ちがあって光と影の画家ターナーの美術館を作りそれに付加してアートアカデミーを計画しました。私たちの時代は卒業設計がひとつの作品としてリアリティをもって完結していることがとても大事でした。

—— 卒業設計と現在の関係はありますか？

直接影響しているかというところはありませんが、一つの経験として心の片隅にあります。一度ここでやりきったということが大切なのです。やはりこの場所に行くときと当時のことをふっと思い出します。敷地はとても大切で、敷地なしでは建築は成り立たないのです。中にはどこにあっても成り立つ建築もあるようですが、建築はその土地の空気、におい、季節感等と密接に関係しています。

あと、皆さん自分たちのやっている建築がどういう意味を持っているかを考えますよね。アートとして、ビジネスとして、教育としてやっている方もいますが私は建築を「ものをつくる」こととして行っています。語っているだけの建築家ではありません。それは常に過去から未来への時間の流れの中で時間を止めてその「時」をその場所に刻み込むことでもあります。

例えば昔の建物があって古くてキッチンに見えてしまうことがあります。自分の建築もそう見られてしまうのだろうか考えるととても悲しいことです。やはり今の時代にあったきちんとしたものを作って次の時代の人たちに受け渡すことが私たちの仕事だと考えます。今の時代に必要ほどこしをして、かつ自分のアイデンティティをそこに埋め込んでいく。そして50年、100年経った後に違う建築家がまた手を加えたりして、建築とはそうやって連続し



卒業設計写真

ていくものなのです。それは当時からの考えではないのですが少しずつ生まれてきた意識です。

—— 学生に一言お願いします。

課題を単に勉強と捉えずに楽しんでもらいたいです。設計はただ答えを解くのではなく自分を表現することであるし、そのための活動だと思えます。そうすると少しずつ建築と自分とのギャップが埋まってきます。建築には様々な接し方があります。その建築と自分との関係がわかってくるはずですよ。



2006年 神宮前b6
写真提供/西川公朗